



こども家庭センターを どう創っていくのか

定員900名
事前申込制

～母子保健の立場から児童福祉との一体化を考える～

2025. 2. 2 (日) 13:00～15:00

今年度から設置が努力義務化された市区町村のこども家庭センターについては、各自治体で運営のあり方の検討が続けられています。設置されたものの、その取り組み内容を巡っては模索が続いている自治体も多いことと思われます。これから地域の子ども家庭支援をどう形作っていけばよいのか、そのために有効なこども家庭センターの運営方法はどのようなものなのか、自治体間で取り組みを共有しながら検討していくが必要になっています。

今回のシンポジウムでは、母子保健のお立場から基調講演をいただき、その後2自治体から取り組みの工夫や課題についてお話をいただく予定です。その上で、これからのこども家庭センターのあり方について、ご参加の皆さまとともに考える時間を持たたいと思います。是非ご参加をお願いします。

プログラム

13:05～13:55
(50分)

基調講演

「～母子保健の立場から～
福祉との協働がこども家庭センター機能を強化する」

中板 育美氏 武蔵野大学看護学部 教授

14:00～14:40
(40分)

報告

「南丹市で育つこどもにわたしたちは何ができるか
～支援の取組みの実際～」

阪本 樹里氏 京都府南丹市こども家庭センター こども家庭課 課長補佐

「こども家庭センターにおける一体的な支援とは
～涌谷町での実践を踏まえて～」

木村 朱氏 宮城県涌谷町こども家庭センター 統括支援員

14:40～14:55
(15分)

質問・意見交換

参加申込方法

★電子申込フォームより、お申し込みください。
右下のQRコードを読み取るか、当HP「第35回シンポジウムのご案内」にあります参加申込フォームのURLより、お申し込みください。

<https://www.orangeribbon.jp/>

オレンジリボン

申込締切日：2025年1月29日まで



●定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

お問い合わせ先

認定NPO法人
児童虐待防止全国ネットワーク

〒156-0043
東京都世田谷区松原1-50-15 ル・ポー松原 2F

E-mail info@orangeribbon.jp
TEL 03-6380-6380

